

令和5年2月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和5年2月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸市のグルメ情報や歴史などを様々な視点から紹介している「八戸本」が市内を中心に人気を集めています。

「地元愛、大漁」がキャッチコピーの八戸本は、東京都の編集社「EDITORS (エディターズ)」が手がける、地元住民や出身者に向けたガイドブックシリーズ「街ラブ本」の八戸版で、シリーズ88作目、東北地方では「盛岡本」、「福島本」に続く3冊目、青森県内では初の本です。

八戸市出身の編集者が中心的な役割を担い、歴史や建築、朝銭湯、朝市など幅広く取り上げ、地元の人にこそ知ってほしい八戸圏域の魅力が詰まった一冊になっていますので、ぜひご覧ください。

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

# 八戸 2月号 レポート

令和5年1月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	三陸復興国立公園・種差海岸 指定10周年記念事業計画
(2)	八戸市・大型公共10施設の経費「見える化シート」公開
(3)	八戸市中小企業振興ビジョン 原案公表 意見公募実施
(4)	八戸、是川縄文館など4施設 中学生以下 市外も無料

## 【産業】

記事	概要
(5)	中心街の最新情報発信 八戸・三日町三栄会 ユーチューブにチャンネル開設
(6)	ビームスと青森県コラボ 洋菓子や酒など39種類
(7)	今年も魚介のうまみ発信 2月から八戸ブイヤベースフェスタ開催
(8)	「八戸らーめん」県外普及へ 藤沢（神奈川県）、いわき（福島県）で試験提供
(9)	クラフトビールのカネク（八戸） 新商品発売

## 【地域】

記事	概要
(10)	南郷ジャズフェス開催へ 実行委 SNSで発信
(11)	市民の映画館「フォーラム八戸」19年の歴史に幕
(12)	中心街横丁マップ完成 抜け道を迷宮に見立て
(13)	八戸えんぶり3年ぶり開催へ 行事ほぼ通常通り
(14)	八戸ブックセンター本を出す 作家・井上奈奈さん「絵本を建てる」
(15)	ブルーインパルス隊長 名久井朋之さん（八戸出身）「夢や元気与えられる飛行を」

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	駒大、箱根駅伝3冠「花の2区」出場 田澤（八戸出身） 執念の走り
(17)	ヴァンラーレ八戸 悲願のJ2昇格へ始動
(18)	「本屋大賞」候補10作決まる 呉さん（八戸出身）「爆弾」も
(19)	冬季八戸国体 1月28日～2月5日 開催

【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>三陸復興国立公園・種差海岸 指定10周年記念事業計画</b></p> <p>八戸市熊谷市長は1月4日の年頭会見で、種差海岸が5月24日で三陸復興国立公園指定10周年を迎えることを受け、記念事業の実施を検討していることを明らかにした。また、市政運営では、デジタル化や脱炭素化、大型公共施設の有効活用に向けた「見える化」の取り組み、中心街や水産業の再生といった重要課題の解決のほか、政策公約に掲げた「子どもファースト事業」を重視する方針を示した。</p>
(2)	<p><b>八戸市・大型公共10施設の経費「見える化シート」公開</b></p> <p>八戸市は、主要な大型公共施設の維持管理費や財源の見通しなどの総合的な情報をまとめた「見える化シート」を作成、公開した。対象施設は市庁、八戸ブックセンター、美術館、屋内スケート場などいずれも市直営で多人数が利用する10施設。利用状況や特性などを盛り込んだほか、施設運営費を人件費、企画運営費、維持管理費の三つに分類して精査。支出経費の構成割合も示した。今後実施する市民アンケート結果を踏まえ、有効利用に向けた具体策を検討する方針。大型公共施設の利活用は熊谷雄一市長の政策公約の柱で、費用対効果の向上を図れるかが焦点となる。見える化シートは、市ホームページや「広報はちのへ」などで確認できる。</p>
(3)	<p><b>八戸市中小企業振興ビジョン 原案公表 意見公募実施</b></p> <p>八戸市は、新型コロナウイルスの影響などに苦しむ中小企業や小規模企業、地域経済の活性化に向け、取り組む事業をまとめた振興ビジョンの原案を公表した。計画期間は2023から2026年度までの4年間で、ビジョン案は企業アンケートや有識者の意見を踏まえてまとめた。「市民の暮らしを豊かにする中小企業・小規模企業が輝くまち八戸」を掲げ、創業・事業承継の支援、地場産品のブランド化、移住促進など、市が展開する60事業を盛り込んだ。2月20日まで意見公募を実施し、意見を反映させ、成案を策定する。</p>
(4)	<p><b>八戸、是川縄文館など4施設 中学生以下 市外も無料</b></p> <p>世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する八戸市の是川石器時代遺跡を全国に周知するため、市教委は市埋蔵文化財センター是川縄文館など発信拠点となる4施設の入館料について、4月から中学生以下を無料とする方針を決めた。無料になるのは、是川縄文館のほか、長七谷地貝塚のガイダンス施設である市博物館と同施設に関連する根城の広場・本丸、南郷歴史民俗資料館。市内の小中学生は既に無料化されているが、より多くの子どもたちに価値や魅力を知ってもらおうと対象を拡充する。修学旅行の誘致にもつながるなどとして、市の総合教育会議の場でも無料化を求める声が上がっていた。</p>

【産業】

記事	概要
(5)	<p><b>中心街の最新情報発信 八戸・三日町三栄会 ユーチューブにチャンネル開設</b></p> <p>八戸市の商店街振興組合三日町三栄会は、ユーチューブに同日三日町の情報を発信する「みっかまちチャンネル」を開設した。飲食店や商店などの動画を投稿し、各店をPRする。中心街の魅力を発信し、多くの人を呼び込もうと昨年からは準備を進め、現在は三日町にある居酒屋や雑貨店などに関する動画をアップしている。今後は、各店のおすすめ商品のほかイベント案内などの最新情報なども発信し、来街者や出店者の増加につなげる考えだ。</p>

(6)	<p><b>ビームスと青森県コラボ 洋菓子や酒など39種類</b></p> <p>大手セレクトショップ「ビームス」(東京)と青森県は本年度、県内の製造業者や工芸家と連携し、新商品の開発や既存商品の改良に取り組んだ。地域資源を活用した洋菓子や蒸留酒など、若者を中心とした幅広い世代をターゲットに39種類の商品が新たに誕生。参加した6社のうち県南地方関係では、八戸酒造(八戸市)の「りんごスピリッツ」、大竹菓子舗(十和田市)の「りんごの国の十和田タルトタン」のパッケージが新調された。1月26日から2月22日まで、ビームスジャパン新宿店(東京)とオンラインショップで販売される。</p>
(7)	<p><b>今年も魚介のうまみ発信 2月から八戸ブイヤベースフェスタ開催</b></p> <p>水産業界の有志団体「八戸ハマリレーションプロジェクト」は2月1日から3月末まで、「八戸ブイヤベースフェスタ2023」を開催している。同フェスタは2012年から開催され、今回で11回目。八戸港に水揚げされた魚介類を4種類以上使用、スープ料理のほか「締め」を用意し、「一皿で二度おいしい」メニューにする、といった独自のルールを設けて実施する。今回は八戸市、三沢市の飲食店13店舗が参加。地元の水産物や各店のこだわりが詰まったブイヤベースの魅力を発信する。</p>
(8)	<p><b>「八戸らーめん」県外普及へ 藤沢(神奈川県)、いわき(福島県)で試験提供</b></p> <p>八戸地域で昔から親しまれてきた「八戸らーめん」を青森県外にも発信しようと、ラーメン店などでつくる「八戸らーめん会」と八戸商工会議所は2月の1カ月間、神奈川県藤沢市と福島県いわき市の飲食店計11店舗で試験提供する新たな取り組みに乗り出す。八戸商工会議所が藤沢商工会議所、いわき商工会議所と締結した包括的連携協定の一環で企画した。事業には青森県の補助金を活用し、約1500食分を用意する。地元八戸の提供店舗が減少する中、県外にも普及させ、消費拡大を図りたい考え。本格的な取り扱いにつなげ、食材を加工する地元業者の取引促進も目指す。</p>
(9)	<p><b>クラフトビールのカネク(八戸) 新商品発売</b></p> <p>クラフトビール「八戸麦酒(ビール)」を製造するカネク醸造(八戸市)は、新商品「バニラミルクエール」を販売した。バニラビーンズや上品な香りが特徴の「ノーブルホップ」、乳糖などを使用。苦味はほとんどなく、後に残るバニラの風味を感じられる一杯になっている。デザートとの相性もよく、バレンタインデーやホワイトデーの贈り物としてもお薦めという。希望小売価格は330ml入り770円(税込み)。青森県内のスーパーや同社のホームページなどで購入できる。</p>

【地域】

記事	概要
(10)	<p><b>南郷ジャズフェス開催へ 実行委 SNSで発信</b></p> <p>八戸市南郷地区の夏の風物詩「南郷サマージャズフェスティバル」について、南郷ジャズフェスティバル実行委員会は1月1日、4年ぶりの実施に向けて準備を進めていることを明らかにした。同フェスにはこれまで、サクソ奏者の渡辺貞夫さん、トランペット奏者の日野皓正さんなど、国内外で活躍する有名プレイヤーが出演。東北最大級のジャズフェスとして定着してきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2019年を最後に中止が続いていた。今年の出演者は、中止となった20年に予定していたアーティストを軸に調整しており、例年通りであれば4月ごろの発表となる。7月29日の開催を予定している。</p>

(11)	<p><b>市民の映画館「フォーラム八戸」 19年の歴史に幕</b></p> <p>八戸市唯一の映画館で地域の映画文化を支えてきた「フォーラム八戸」が1月5日、閉館した。市民の映画館として2003年9月の開業から19年余りにわたって親しまれ、これまでに人気作からミニシアター系まで6千本ほどの作品を上映し、約237万人が来館。営業最終日は、市内外から多くの家族連れらが訪れ、最後の別れを惜しんだ。今回の閉館は、「チーノはちのへ」一帯の再開発の影響によるもので、運営会社の「八戸フォーラム」は、移転存続に向け、既存施設の改築や新築など検討を重ねたが資金面の折り合いがつかなかった。当面は会社を存続させ、市内での再出店を模索するが、現時点では白紙としている。</p>
(12)	<p><b>中心街横丁マップ完成 抜け道を迷宮に見立て</b></p> <p>八戸横丁連合協議会は、東北新幹線八戸開業20周年を契機に、八戸市中心街の新たな横丁マップを作成した。マップは、戦後間もなく飲食店が軒を連ねた「ためき小路」から、新幹線開業を機に誕生した「みろく横丁」まで、風情の異なる横丁の歴史や特徴を紹介している。デザインを担当したのは、同市大工町のバー「サロン・ド・ギリコ」を経営する瀬知素子さん。飲食店がひしめき合い、迷路のように抜け道が数多くある八つの横丁をゲームの世界の「ダンジョン（地下迷路）」に例え、見る人が楽しめるよう趣向を凝らした。世代を超えて新旧の店が混然一帯となっている横丁の魅力を、市民や観光客に再発見してほしいと願う。</p>
(13)	<p><b>八戸えんぶり3年ぶり開催へ 行事ほぼ通常通り</b></p> <p>八戸地方えんぶり保存振興会は1月12日、市内で関係者合同会議を開き、国重要無形民俗文化財の「八戸えんぶり」を2月17から20日までの日程で実施することを決めた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた2020年以來3年ぶりの開催となる。行事はほぼ通常通り行うものの、初日のえんぶり行列の経路を変更し時間短縮を計ったり、市中心街でえんぶり組が競演する一斉摺りの会場を拡大するなどの感染対策を講じる。1月30日まで各えんぶり組から参加意向を聞き取り、行事の調整を進める。最大33組の参加を見込む。</p>
(14)	<p><b>八戸ブックセンター本を出す 作家・井上奈奈さん「絵本を建てる」</b></p> <p>八戸ブックセンターは作家井上奈奈さん（京都府出身、東京在住）のエッセー本「絵本を建てる」を発行した。同センター初の刊行物で、4編の書下ろしエッセーを収録したブックレットとA3ポスターを家形の専用ケースに収納した限定セット。井上さんは、国内外での個展などで作品発表を続け、2017年には著作の絵本「ウラオモテヤマネコ」「くままでのおさらい」の二作品が舞台化されている。また、絵本「くままでのおさらい」特装版はドイツライブツィヒで開催された「世界で最も美しい本コンクール」で銀賞に輝くなど国内外から評価を得ている。同センターでは「絵本を建てる 井上奈奈の仕事展」を3月19日まで開催している。</p>
(15)	<p><b>ブルーインパルス隊長 名久井朋之さん（八戸出身）「夢や元気で与えられる飛行を」</b></p> <p>航空自衛隊のアクロバット飛行チーム「ブルーインパルス」の飛行隊長を務める名久井朋之2等空佐が1月7日に来八し、2021年の東京五輪開会式での飛行などを振り返り、「これからも多くの方に夢や元気を与えられるような演技をしたい」と意気込みを語った。名久井さんがパイロットに興味を持ったのは小学生時代。ブルーインパルスの飛行を見て感動し、憧れを抱いた。夢をかなえるため、防衛大へ進学、空自で操縦技術を磨き、21年4月に念願だったチームに配属された。22年3月に飛行隊長に就任。新型コロナウイルス禍で苦しむ国民に夢や元気を届けようと、全国各地で展示飛行に取り組んできた。チームでの勤務はあと1年余り、「いつか故郷の青森県上空も飛べたらうれしい」と力を込めた。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	<p><b>駒大、箱根駅伝3冠 「花の2区」出場 田澤 (八戸出身) 執念の走り</b></p> <p>1月3日に行われた第99回箱根駅伝復路は、駒澤大学が往路に続いて優勝、2年ぶりの総合優勝を果たした。4年連続大会に出場の田澤廉 (八戸出身) は、各校エース級のランナーが集まる花の2区に3年連続で挑んだ。本番1カ月前に新型コロナウイルスに感染した影響で、万全な状態ではなかった中、2位で3区にリレー。チームの往路Vに貢献した。田澤は、今春から実業団チームのトヨタ自動車に所属しながら競技者としてさらなる高みを目指す。最終目標はマラソンで五輪を走ること。まずは1万メートルで今年8月の世界選手権や来年のパリ五輪の出場を狙う。</p>
(17)	<p><b>ヴァンラーレ八戸 悲願のJ2昇格へ始動</b></p> <p>サッカーJ3のヴァンラーレ八戸は1月16日、八戸市多賀多目的運動場で今季初の全体練習を行った。チームにとってはJリーグ参入5年目のシーズン。チームは昨季、14勝1分け19敗で過去最高タイの10位だった。来季からはJ3と日本フットボールリーグ (JFL) の入れ替えが始まり、緊張感のある戦いを強いられる。通算700試合以上指揮を執った石崎信弘新監督の下、節目の年に悲願のJ2昇格を目指す。開幕戦は3月第1週の土日のいずれかに、FC琉球とアウェーで戦う。</p>
(18)	<p><b>「本屋大賞」候補10作決まる 呉さん (八戸出身) 「爆弾」も</b></p> <p>全国の書店員が「一番売りたい小説」を投票で選ぶ2023年本屋大賞の候補10作品が1月20日、発表された。八戸市出身の呉勝浩さん (大阪在住) の「爆弾」 (講談社) もミネートされた。「爆弾」は、連続爆破事件を「予言」する不気味な男と警察のスリリングな心理戦を描いた作品。毎年恒例のミステリーランキング「このミステリーがすごい!」「ミステリーが読みたい!」ではいずれも国内作品1位に選ばれている。本屋大賞は4月12日に発表となる。</p>
(19)	<p><b>冬季八戸国体 1月28日～2月5日 開催</b></p> <p>「銀盤に 君の軌跡よ 花ひらけ」を大会スローガンに、特別国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会「未来へつなぐ八戸国体」が1月28日から2月5日までの9日間、八戸市と南部町で開催された。「スケート国体」としては最後、八戸市では通算14度目の開催となった。全国44都道府県から選手、役員1760人が参加し、スピード、フィギュア、ショートトラック、アイスホッケーの4競技で熱戦を繰り広げた。3年ぶりの有観客での開催で、開幕初日は観覧者の人数制限により会場は満員とはならなかったものの、出場選手の華やかな演技にスタンドから拍手や歓声が湧き起こり競技を盛り上げた。</p>

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### ① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### ② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

#### ③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 松橋 大輔 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

### 申込み方法

#### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



#### インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



### 送付先

#### 八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。